

政策・施策・事業整理票

スポーツ庁

政策

政策目標	11 スポーツの振興
概要	世界共通の人類の文化の一つであるスポーツを国民の成熟した文化として一層根付かせ豊かな未来を創るとともに、全ての人々がスポーツの力で輝き、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。



施策

※令和3年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのか分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	11-3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
施策の概要	国際競技大会等において優れた成績を挙げる競技数が増加するよう、各中央競技団体が行う競技力強化を支援する。 日本オリンピック委員会（JOC）及び日本パラリンピック委員会（JPC）の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ、我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるよう支援する。
達成目標1	中長期の強化戦略に基づく競技力強化を支援するシステムの確立、次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築、スポーツ医・科学、技術開発、情報等による多面的で高度な支援の充実及びトップアスリート等のニーズに対応できる拠点の充実を通じて、各中央競技団体が行う競技力強化を支援する。

※本整理票に記載の施策は、令和3年度事前分析表より転記している。今後、第3期スポーツ基本計画（令和4年3月25日付）等を踏まえ見直しを行う。



事業

※令和4年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	女性アスリートの育成・支援プロジェクト	
事業の目的	<u>ジュニア層を含む女性アスリートが健康に競技を継続できる環境整備</u> のため、無月経をはじめとする女性アスリートの三主徴や妊娠・出産などの課題に対応した科学的根拠に基づくサポートの充実やジュニア世代のアスリートや指導者の理解促進を図ることを目的とする。	
事業概要	○トップアスリートへの支援として、 <u>産前産後の競技復帰に向けたトレーニング指導等の医・科学サポート</u> や <u>育児と競技を両立するための託児等の支援、相談窓口の設置・運営</u> などを実施する。また、女性の視点とアスリートとしての高い技術・経験を兼ね備えた <u>女性エリートコーチを育成するプログラム</u> を実施する。 ○女性の健康課題に対応した年代別・競技別のマニュアル策定や女性アスリート支援情報プラットフォームの構築などに取組み、 <u>中高生含むジュニアアスリートへの対応の充実</u> を図る。	
	①	定量的な成果目標 女性アスリートが安心して競技を継続できる環境整備
		成果指標 産前産後期のトレーニング指導等の医・科学サポートの満足度 ※令和4年度から実施

アウトカム	②	定量的な 成果目標	産前産後のトレーニング指導等の医・科学サポートを通じて、女性トップアスリートが健康に競技を継続できる環境を整備
		成果指標	中央競技団体において、女性アスリート支援の担当者が配置される ※令和4年度から実施
	③	定量的な 成果目標	ナショナルチームで指導する女性コーチの増加
		成果指標	プログラム受講者がナショナルレベルで指導する割合 ※令和4年度から実施
	④	定量的な 成果目標	女性アスリートの健康課題に配慮して行われる指導の割合向上
		成果指標	選手・指導者における女性アスリートの健康課題に配慮した指導・トレーニングの必要性の認識の向上 ※令和4年度から実施
アウトプット		(1)	産前産後期のトレーニング指導等の医・科学サポート数（延べ数）
		(2)	産前産後期のトレーニング指導等の医・科学サポート事例をNFへ展開した実績（講習会、事例伝達）
		(3)	受講者数
		(4)	年代別・競技別マニュアル等の策定
本事業の成果 と上位施策と の関係	女性アスリートが健康に競技を継続でき、安心して競技に打ち込むことができる環境が整備されることにより、女性アスリートの心身の健康保持、スポーツを通じた女性の活躍促進につながる。		